

ガス防災支援システム(G-React)について

令和4年10月4日 経済産業省 産業保安グループ ガス安全室

ガス防災支援システム(G-react)について

(1)目的・概要

- 地震等による災害が発生した際、都市ガス供給の停止状況等を直ちに把握することは、復旧活動や応援派遣等を行う上で、極めて重要。
- そのため、平成19年に経済産業省にて災害発生後の都市ガス供給の停止状況や移動式ガス発生設備の保有状況等、**復旧活動に必要な情報**を把握・共有する「ガス防災支援システム(G-React)」を開発、運用している。必要な開発が一通り完了したことから、令和5年度中に、民間への譲渡を予定。

(2) 具体的な流れ

- 震度5弱以上の地震が発生すると、当該システムが自動的に気象庁から震度情報を入手し、 震度5弱以上のエリアに都市ガスを供給する事業者を全国的に自動抽出する。
- 当該範囲内の一般ガス導管事業者が供給停止状況等をシステム上に入力することで関係者 (経済産業省(本省・監督部)、ガス事業者、日本ガス協会、日本コミュニティーガス協会)が、 随時、状況等を把握することができる。

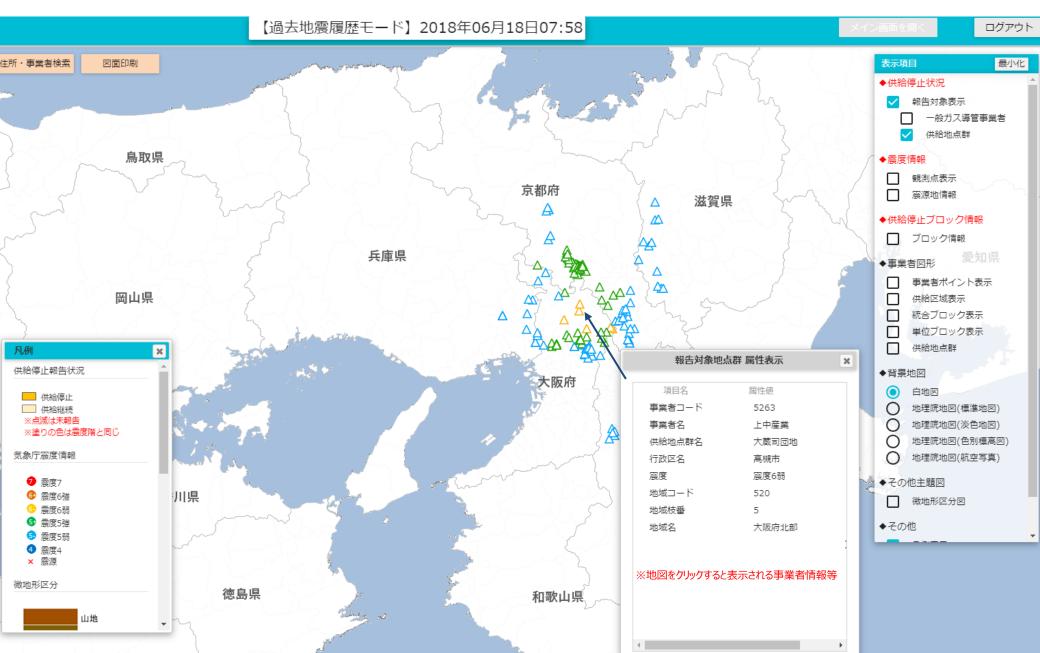
(3) 効果

● こうした情報は、日本ガス協会を中心に、一般ガス導管事業者間で**応援派遣体制を検討**する際のベースとなる**重要な情報として活用**されており、主に初動対応において効果を発揮。大阪府北部地震や熊本地震、福島県沖地震でも活用。

(参考1-1) 平成30年6月18日 大阪府北部地震時のG-React画面(一般ガス導管事業者)



(参考1-2) 平成30年6月18日 大阪府北部地震時のG-React画面(旧簡易ガス事業者)



(参考2) 各事業者にて移動式ガス発生設備の保有状況等、システム上に登録するための登録画面

